

開講科目名 / Course	予防的家庭訪問実習（2年次）	
ターム・学期 / Term・Semester	2021年度 / Academic Year 前期	
開講区分 / semester offered	通年	
単位数 / Credits	1.0	
学年 / Year	2	
主担当教員 / Main Instructor	福田 広美	
担当教員名 / Instructor	福田 広美、影山 隆之、篠原 彩	
必修・選択 / compulsory subject	必修	
講義形態 / Class Type	実習	
科目の目的と概要	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域に住む高齢者の生活・人生を長期的な視点で捉えることができる。 2. 地域に住む高齢者への機能低下予防対策について考察することができる。 3. 高齢者の在宅生活を支えるためのシステムや地域の取り組み（自治体の取り組み等を含む）を考察することができる。 4. 世代や学年を超えた人とコミュニケーションについて考察することができる。 	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 協力者を地域で生活する人間として捉え、全体像を述べ、1年次とは異なる自己のアセスメント能力の変化や自己の成長を発見することができる。 2. 協力者を取り巻く周囲の環境と協力者の健康状態、健康状態の変化について述べるができる。 3. 協力者の実生活との関連で健康状態をアセスメントする重要性や意義を述べるができる。 	
DPとの対応	<ol style="list-style-type: none"> 1. 確かな看護の力・技術力、2. 看護を遂行するための幅広い知識と観察力・臨床推論能力、マネジメント能力、3. 心豊かな人間性と倫理観、4. より健康な社会の実現に向けて課題を見出し、改革・改善する力 	
授業計画	実習期間：2021年4月～2022年1月 実習場所：富士見が丘団地、野津原地区の70歳以上の協力者のご家庭等 実習方法：学年の到達目標を考慮し、協力者の家庭を訪問する。実習の頻度・回数はひとりあたり年間4回以上訪問する。	
その他の授業の工夫	他学年のグループメンバーと協力しながら、年4回以上の訪問を行う。 協力者の都合などで訪問計画がうまく進められない場合は、看護研究交流センターや担当教員に相談すること。	
時間外学修	訪問前後にチームでミニカンファレンスをする（参加できない人はメールでも可）。 訪問後、各自の訪問記録を作成提出する。	
評価方法と評価割合	以下の1～4により総合的に評価する。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 訪問回数：100%訪問することを原則とする。ただし、訪問後のレポートを訪問毎に作成し、提出したことで訪問したとみなす。また最終レポートの提出をもって所定の回数を訪問したとみなす。 2) 実習内容 3) 実習態度 4) 訪問後のレポート・最終レポート内容 	
テキスト	必要時、ハンドアウトを配布する。	
参考書		
履修する上で必要な要件		
その他		
教員の実務経験	有・無	有
	内容	福田広美：病院における看護活動 篠原彩：病院における看護活動 影山隆之：離島における訪問診療
教員以外で指導に関わる者の実務経験	有・無	無
	内容	
実務経験をいかした教育内容	学生の相談に応じ、健康な在宅生活に必要な条件や健康教育の方法について助言する。	